

羽

黒山の由来をまとめた「羽黒山縁起」の最初の一文には「抑、當山は観音説法の道場、権現涌出の覺基也。」とあります。

江戸時代まで羽黒山頂の「大金堂（三神合祭殿）」には出羽三山の本地仏が安置されていました。それに対して「小金堂」と呼ばれたのが山麓の「黄金堂」です。ここに祀られているのは三十三体の羽黒山の本地仏「聖観世音菩薩」です。なぜ、羽黒山は観音様なのでしょう。

「三十三」という数字は、なにを表しているのでしょうか。また、羽黒山伏と観音様の関係とはどんなものなのでしょうか。

企画展を通して、時代の影響を受けながらも現代まで受け継がれてきた羽黒山の観音信仰に迫りたいと思います。

そして平成30年は、羽黒山頂にある三神合祭殿の再建二百年の記念の年です。

そこで羽黒山第75代別当・覚諄の業績、第50代別当・天宥との関わりに大きく

焦点を当てていきます。それぞれの別当はのちの

時代に大きな影響を与える数々の業績を成しました。

当時の資料から、羽黒山の歴史と文化に迫りたいと思います。

荒澤不動・三山御影・能除仙像
江戸時代後期 金剛樹院蔵

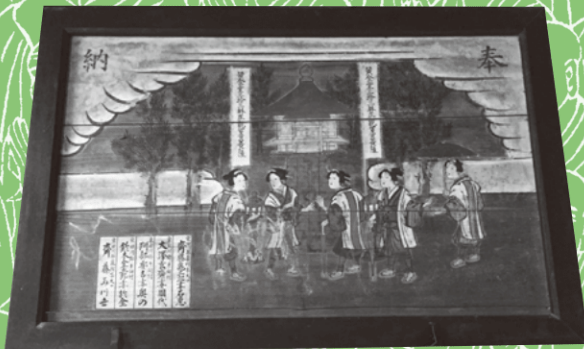


左：羽黒山宝篋印塔設計図
江戸時代 個人蔵

右：庄内三十三観音札所御詠歌
明治時代 照光寺蔵



県指定重要文化財 観音三尊懸仏
鎌倉時代 個人蔵
※7月上旬から公開予定



庄内三十三観音黄金堂奉納絵馬
荒澤寺正善院蔵



中禅寺十八講 祭壇と食器類
個人蔵



羽州庄内羽黒山大堂之絵図
江戸時代後期 いでは文化記念館蔵

開催中のイベント

企画展記念講演会 「羽黒山の観音信仰」

企画展記念講演会として島津弘海住職と羽黒修験者の方々に、観音様と羽黒修験との深い関わりについてお話しいただきます。講演会に参加ご希望の方は、いでは文化記念館入館券+正善院黄金堂拝観券+さらに特別限定記念品がセットになったお得な共通券(1,000円)をご利用ください。

- 【講師】 島津弘海氏（羽黒山荒澤寺正善院住職）ほか羽黒修験者
- 【日時】 平成30年10月27日（土）13:30～15:00
- 【場所】 羽黒山荒澤寺正善院 本堂・黄金堂 【定員】 75名
- 【料金】 共通券 1,000円
(いでは文化記念館入館料+黄金堂拝観料+特別限定記念品含む)
- 【ご予約・お申込み】 0235-62-4727 いでは文化記念館まで

企画展特別イベント 「羽黒山と観音様クイズラリー」

【期間】 平成30年7月27日（金）～11月26日（月）
企画展示室を会場に、羽黒山と観音様にまつわるクイズラリーを開催します。全問正解者には企画展にちなんだ記念品をプレゼント！